

HIC通信

Vol. 119
January 2023
Hiroshima
International
Center



HIC世界体験デー

目次

- P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」
- P3 お店訪問
- P4 事業報告
 - 交流部
 - 広島県留学生活躍支援センター
- P9 研修部トピックス
- P10 コラム
 - Hello Hiroshima
 - イベント・講座案内
 - Upcoming Event News
- P11 JICAレポート
 - こちら JICA 中国

私の国と日本



中国編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます！



留学生紹介

チョウ ガキ
張 雅琪さん

皆さん、はじめまして！広島経済大学経営学部経営学科1年生のガッキーです。子供の頃、名探偵コナンを見てから、日本が好きになりました。高校生の時から日本語を勉強し始め、大学は日本に留学することを選びました。特に心理学についての本を読むのが好きで、この世界の様々な物語を感じて、異なる国の文化の融合を感じるのも好きです。日本に来て最も楽しいのは、いろいろな留学生の活動に参加して、良い思い出を残すことです！私の出身は中国です。中国には五湖四海があり、私は東北の一角の大連というところで育っています。今回は私の故郷を紹介します。よければ、そこの風土や人情を感じに行って、見てほしいと思います！



「大連」のアイスクリーム

気候

大連は旧名ダリーニといい、青泥窪とも呼ばれます。遼東半島の南端に位置し、山東半島と海を隔てて向かい合っています。中国東部沿海の重要な経済、貿易、港、工業を担う観光都市です。中国のロマンチックな都・大連は、その曲がりくねった川や道の風景、魅力的な海の景色、心地よい気候で世界的に知られています。子供の頃から私が一番好きだったのは海に行って、海の風の音を聞いて、カモメに餌をやることです。その静かさは私のすべての悩みを解決して、私に希望を取り戻してくれます。海辺は夏は涼しく、小さな避暑山荘と呼ばれているので、冬も寒く、海風が猛威を振るうので、ぜひ夏に行くことをお勧めします！そして、そこの花火のすばらしさで心を癒してください。



201路面電車



星海大橋とカモメ

食べ物

中華料理といえば、日本人の友人たちはいつもチンジャオロース、回鍋肉、麻婆豆腐など日本で有名な料理を思い出します。確かに中国は地域が広いですが、実はどこにも特色のある美食があります。海に囲まれて育った私は、もちろん海鮮が大好きです。サザエからザリガニまで、食べ方は尽きませんが、特に紹介したいのは麻辣ザリガニです！ジューシーで、身がいっぱい、とても幸せです！またビールも超おすすめで、日本と同様に私たちも酒のテーブル文化が盛んです。毎日夏には大連でビール祭りがあり、そこでは世界各国で製造されたビールを味わうことができます。日本の生ビールは爽やかな香りで、大連のものはもっと濃厚で苦い。機会があれば、思う存分飲んでください！



麻辣ザリガニ

お祭り

子供たちが一番好きなのは春節です。日本とは少し違って、私たちのお正月は毎年陰暦で過ごします。我が国の年越しの歴史は悠久で、伝承発展の中でいくつかの習慣が形成されて、多くは今に伝えられています。例えば正月用品を買い、塵を掃いて、対聯（新年を祝う対句を書いた札）を貼り、年夜食（大晦日の夜の食事）を食べます。旗や灯籠を飾り、竜や獅子の舞、どらや太鼓の演奏などで災難を払い、先祖を祀り、神を拝んで新年を祝います。縁日もあり 正月の提灯



ます。伝統的な祝日の儀式や風習は、祝日の重要な要素であり、多彩な祝日文化の基礎を担っています。多くの細かいところは地域によって違いますが、中国人にとって年越しは、一年の終わりと始まりを祝うために絶対に欠かせないものです。家の中も年越し一色で、あちこちに赤い提灯があり、夜は家族と海に花火を見に行くことができます。今年のすべてに感謝して、万事順調になることを願います！

最後に

ここまで読んだ皆さんは、私の故郷である大連に少し期待しているのではないかでしょうか。YouTubeで日本人の女の子のブログで大連の美食、観光地が紹介されているのを見たことがあります。彼女は大連の多くの場所が日本と似て、日本人に合うと言っています。確かに、日本統治時代だった頃の習慣、建築が多く残されています。大連にはまだたくさんの魅力がありますが、発見したらきっとそこが好きになると思います。



友達と遊園地で

H I C 通 信

お店訪問

HIC:いつ頃来日されましたか。

シリさん:元々インドのホテルでシェフとして勤めていましたが、昭和59年に広島で初めてインド料理店を出すことになり、そのシェフとして来日しました。



ナンを焼くガネーシュの料理人

HIC:初めてご自分のお店をオープンされたのはいつ頃ですか。

シリさん:平成13年に徳山にオープンしたのが最初でした。次が岩国、その後広島市の宇品港ターミナルへ出店のお話がありオープンしました。

HIC:何故、最初に徳山に出店されたのですか。

シリさん:徳山はそれなりに街の規模がありましたが、インド料理店がなかったので徳山に出店することにしました。

HIC:お店を沢山お持ちですが、何店舗ぐらいお持ちですか。

シリさん:現在は徳山にはありませんが、広島市・廿日市・岩国市で合計7店舗営業しています。

HIC:従業員の方は、多くはインドの方ですか。

シリさん:今、従業員は全店舗で25~6人いますが、ネパール人とインド人がほとんどです。当初は現地に行って採用していましたが、最近は日本で求人募集しても沢山の応募があり、半分は日本で採用しています。

社長のシリさん



外国料理のお店や外国食材専門店などを取り上げています。

第4回の「お店訪問」は、

広島市中区本通りにある

インド料理の「ガネーシュ」にお邪魔しました。

HIC:店名の「ガネーシュ」とはどういう意味なのですか。

シリさん:インドの三大神様の一人で『創造と破壊の神様』と呼ばれているシヴァ神の子供です。インドでは有名で、顔が象で体は人間の格好をした商売の神様です。



店舗の入口

HIC:食材はインドから輸入されているんですか。

シリさん:沢山のスパイスを扱っている神戸の食材専門店から取り寄せています。

HIC:それでは、お店のお薦めメニューを教えてください。

シリさん:カレーやナンなど色々な組み合わせができるランチメニューも人気ですし、色々な味を一度に楽しめるミモラセットもお薦めです。



人気のランチメニュー

HIC:とてもボリュームがありますね。

シリさん:はい、そうですね。カレーの辛さも選べますので、お腹いっぱい食べてください。



お薦めのミモラセット



スペシャルランチセット

本日は、お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

店舗情報

インド料理店

GanesH(ガネーシュ)本通り店

〒730-0036 広島市中区本通3-12 富士商会ビル2F

営業時間:月曜~金曜 11:00-14:30 17:00-22:00

土曜・日曜 11:00-22:00

定休日:元日以外無休 連絡先:082-247-0022

• Activity Report •

交流部



Report 1 「HIC世界体験デー」を開催しました!

11月3日（木・祝）に、ひろしま国際センターにて、「HIC世界体験デー」を開催しました。異文化理解や国際交流を目的として、外国の音楽や舞踊・お話などを楽しめる芸能披露のステージ、世界の国にちなんだワークショップ、いろいろな国出身の外国人とお話しできるブース、外国の民芸品を扱う団体のバザー、世界クイズや民族衣装を試着できるコーナーなど、さまざまな催し物を用意しました！

3年目の開催ですっかりHICの恒例行事となった今回は185名の方にご来場いただきました。どのブースも大盛況で、子どもから大人までたくさんの方に、多種多様な国の異文化を体験していただき、ご来場者・出演者・ボランティアのみなさんの笑顔あふれるイベントとなりました！

ご来場者の皆さん、ご協力くださいましたボランティアの皆さん、本当にありがとうございました！来年度のHIC世界体験デーもぜひお楽しみにしていてください♪

「芸能披露ステージ」8つの団体がそれぞれの国の芸能を披露しました！



「外国人とのおしゃべりブース」7か国のブースを設置し、日本語や外国語でそれぞれの国の人と交流しました！



「ワークショップ・バザー」 外国の文化体験や遊びのワークショップ、バザーなどで賑わいました！



交流部



Report 2 国際フェスタ2022が開催されました!

11月20日（日）に開催された、国際フェスタ2022（（公財）広島平和文化センター主催）にブース出展させていただきました。

ひろしま国際センターとしては4年ぶりの出展で、「多文化共生紹介コーナー」としてパネル展示やチラシの配布、センターの紹介ビデオの上映を行いました。

イベント当日は汗ばむほどの晴天で、多くの方にお越しいただきました。

ご家族連れを中心に、学生さんや団体グループの方など、様々な方に当センターの事業を知っていただきましたとても良い機会になりました。

ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



来場した留学生



パネル展示の様子

交流部



Report 3 令和4年度 奨学生決定通知書授与式・第2回奨学生交流会を開催しました

外国人留学生に対する奨学生決定通知書授与式・第2回奨学生交流会を12月8日（木），TKPガーデンシティ広島にて開催しました。この交流会は、奨学生の受給者と協力企業・団体との交流の促進を目的として、年2回開催しています。授与式では、10月から新しく奨学生受給者となった6名に、奨学生決定通知書の授与を行いました。

続いて行われた交流会では、エリザベト音楽大学の奨学生である常馨予さんと演奏協力者シランクルスさん、パノピオさんに素晴らしい演奏と歌を披露してもらい、会場は大いに盛り上りました。



渡日等奨学生決定通知書授与式



奨学生による歌・演奏

交流部



Report 4 市町への出張相談会を開催しました

令和4年度は、市町の希望を踏まえ、下表のとおり3市で実施しました。

市 町	日 時	場 所	相談件数
三原市	令和4年10月4日（火） 13：30～16：30	三原市中央公民館・大講堂 (三原市城町1丁目3-1)	10件
安芸高田市	令和4年10月16日（日） 10：00～16：00	安芸高田市多文化共生センター「きらり」 (安芸高田市吉田町吉田406)	
三次市	令和4年11月12日（土） 10：00～16：00	みよしまちづくりセンター (三次市十日市西六丁目10-45)	

• Activity Report •

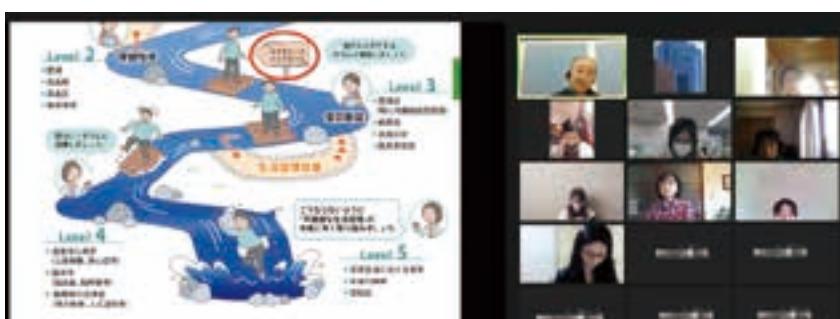
交流部

Report 5 医療通訳ボランティアスキルアップ研修を開催しました

12月10日（土）に今年度最後の医療通訳ボランティアスキルアップ研修をオンラインで開催しました。

今回は医療知識を学ぶことを目的とした研修で、おだ内科クリニックにご勤務の医師、高田昇様に生活習慣病についてご講義いただきました。

生活習慣病の多くは自覚症状がないまま進行するため、知らないうちに重篤な病気を引き起こしてしまいます。定期的に医療機関等で健診を受けることが重要なので、言葉の壁による受診のハードルを下げるためにも、医療通訳ボランティア派遣事業を大いに活用していただきたいと思います。



オンライン講義の様子

医療通訳ボランティアスキルアップ研修は、既に登録している医療通訳ボランティアの通訳能力の維持・向上を目的としており、今年度は、医療知識に関する講義を3回、通訳技術と倫理・心得の講義を1回、模擬通訳（医療通訳のロールプレイ）を2回、計6回開催しました。ボランティア研修としては回数が多く負担も大きいのですが、医療現場の通訳は正確性と臨機応変な対応が求められるため、医療通訳ボランティアの皆様には積極的にご受講いただくようお願いしております。

今年度の医療通訳ボランティア研修は全て終了しましたが、来年度も引き続き開催を予定しておりますので、スケジュールが決定次第ひろしま国際センターのホームページでご案内いたします。

交流部

Report 6 外国人相談員研修会を開催しました

講師として、特定非営利活動法人ビザサポートセンター広島の理事長でもあり、当センターの専門相談員（行政書士）としてもご活躍いただいている益田浩司氏をお招きし、県や市町の外国人相談の窓口等で応対されている担当者を対象に、相談を受ける際の注意点や技法を学びました。

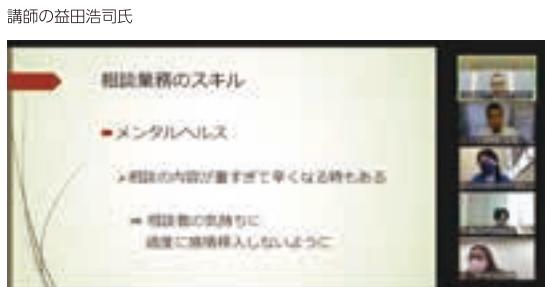
今年度もコロナウィルス感染防止のため、Zoomを使用したオンラインでの開催となりました。

益田氏のこれまでの経験を交えながら、参加者の皆さんが熱心に耳を傾けている様子がよくうかがえました。

開催日：10月11日（火）、10月19日（水）、

10月28日（金）

参加者：合計39名



オンライン研修の様子

留学生活支援センター



Report 7 留学生交流イベント(10/23 豊栄ツアー)

『合同会社ひとむすび』とコラボし、10月23日（日）に豊栄ツアーを開催しました！広島県内の留学生24名と、通訳ボランティアの学生2名が参加してくれました。

午前は小石川観光りんご園を訪れ、りんご狩りを楽しみました。また、りんごの木の下で写真を撮ったり、種類のちがうりんごの食べ比べをしたりして、秋ならではのイベントを楽しみました。

午後からは地域おこし協力隊の陣内綾さんのご協力のもと、昔ながらの農家さんの家の見学や藁のリース作り、藁の下草を取ってきれいにする作業「藁そくり」などを体験しました。また地域貢献の一環として、農村と藁について説明した文章の翻訳作業をお手伝いしました。普段の生活では知ることのない「日本の昔」に触れることのできたツアーでした。

小石川観光りんご園の皆さん、陣内さん、ひとむすびの皆さん、それから参加してくれた留学生の皆さん、通訳をしてくれたYUGHIE YUNIOR ALVADIVIAさん、李佳程さん、どうもありがとうございました！



藁のリース作り体験



小石川観光りんご園で

留学生活支援センター



Report 8 県内留学生が多家神社秋祭り(シャギリ)に参加しました!

10月16日（日），安芸郡府中町の多家神社で、辻町内会様主催で豊作を祝う秋祭りが3年ぶりに開催されました。広島県内の外国人留学生7か国21名（中国・ベトナム・インド・インドネシア・タイ・フィリピン・ナイジェリア）が参加しました。

女性参加者は、おそろいの浴衣を着て、府中音頭の曲に合わせて踊りながら多家神社に向かって練り歩きました。お祭り後は、町内の方に広島の郷土料理「八寸（はっすん）」などを振るまつていただきました。

留学生からは、「浴衣を着せてもらって楽しく踊ってとても楽しかった」「お料理がとても美味しかった」「来年もこのお祭りがあるの？」との声がありました。貴重な経験の機会をいただいた、辻町内会のみなさま、参加いただいた留学生のみなさん、ありがとうございました！



府中音頭に合わせて踊る様子



広島の郷土料理「八寸」

留学生活支援センター



Report 9 留学生と地域との交流会～稲刈り体験 in 東広島を開催しました!

10月15日（土）に東広島市西条町吉行にて、ひろしま農育プロジェクト様のご協力の下、留学生と地域の方との稲刈り体験をしました。県内の留学生11名と日本人学生5名、地域の子どもたちとの交流を通じて、日本の農業を学び、新しい仲間を作ることが出来ました。

ひろしま農育プロジェクトの川口さんから、日本人と米作りのつながりについてのお話しをお聞きした後、稲刈り体験をしました。鎌で稲を刈り、ひもで縛って、干す作業を体験したり、刈ったお米の殻をむいてその場で食べたりもしました。

稲刈り後は餅つきをし、広島大学の学生団体Kitchen Worcarが調理してくれたお雑煮についてお餅を入れて料理を楽しみました。

開催についてご協力いただいた皆さま、ありがとうございました！



稲刈りの指導を受ける様子



稲刈り体験

• Activity Report •

留学生活躍支援センター



Report 10 「日本語学校留学生の大学体験入学会」を開催しました

9月13日（火）県立広島大学・創啓大学、10月6日（木）福山大学・福山平成大学、10月11日（火）広島国際大学・広島大学、10月26日（水）広島経済大学・広島修道大学を訪問し大学体験入学会を開催しました。広島県内の日本語学校に通う留学生、計33名にご参加いただきました。

（9月6日（火）広島市立大学・比治山大学コースは台風のため中止）

大学では入試制度や学費の説明を聞いたり、先輩留学生と交流したりし、それぞれの大学について知ることができました。またキャンパスの見学や模擬授業の体験もさせていただき、大学の雰囲気を味わうこともできました。

参加された学生さんからは「模擬授業がおもしろく、大学の授業が実際に体験できて良かった」「図書館などの大学の施設が綺麗だった」などの感想があり実際に訪問して得たものも多かったようです。

ご協力いただいた大学の皆様、参加してくださった日本語学校の皆さん、ありがとうございました。



模擬授業（広島修道大学）



キャンパスツアー（県立広島大学）



先輩留学生との交流（福山平成大学）



学食での様子（広島国際大学）

留学生活躍支援センター



Report 11 「『自分』再発見プログラム」を開催しました！

11月5日（土）～6日（日）の2日間、ひろしま国際プラザ（東広島市）で、1泊2日の研修「『自分』再発見プログラム」を開催しました。

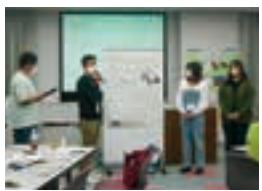
広島県内の7大学から、留学生9名、日本語パートナーとして日本人学生5名が参加しました。このプログラムは、昨年度に引き続き2回目の開催で、共同作業を行なながら、周りの人の色々な考え方や価値観を知ることで、新たな発見や自分自身を見つめ直すきっかけを作ってもらうこと、また、コミュニケーション能力や日本語力を高めることを目的としたものです。1日目に各グループで決めたテーマを基に、2日目は街へ繰り出し、街の方へインタビューを行い、調査結果をまとめて発表を行いました。研修中、東広島市では「国際フェスタ」や「大学祭」が行われており、多くの方がインタビューにご協力くださいました。

2日間の共同生活の中で、参加者は国籍・大学・学年の枠を越え、積極的に意見交換しながら楽しく課題に取り組み、研修後は、別れを惜しむほど仲が深まっていました。仲間と一つのことを成し遂げることで、色々な学びになったのではないかと思います。

参加者のみなさん、そして突然のインタビューにも関わらず、快く受けてくださった街のみなさま、どうもありがとうございました。



集合写真



報告会の様子

留学生活躍支援センター



Report 12 マツダミュージアム見学ツアーを開催しました！

11月23日（水・祝）に、ひろしま留学大使研修の一環として、マツダ株式会社が運営する博物館「MAZDA MUSEUM」を訪問しました！

自動車メーカーとしてこれまで世に送り出してきた数々の車が展示されたコーナーでは、時代とともに変化してきたデザインを順に見学しました。またモノ造りへのこだわりなどが紹介されたコーナーでは、ガイドさんによる丁寧な解説もあり、皆興味深そうに話を聞き入っていました。他にも生産ラインの見学、MX-30やROADSTERとの記念撮影など、盛りだくさんのツアーでした。

広島の魅力を発信するにあたり、広島の企業での取り組みや技術を体感することができ、とてもよい経験になりました。これからも広島の魅力をたくさん発信していきたいと思います！



ROADSTERを囲んで



みんなで記念写真



ミュージアム見学



△△ [JICAからの受託事業]
その1 JICA 里山 BOOST-UP プロジェクト

このプロジェクトは、県内の大学に通う大学生・院生・留学生が東広島市志和町を訪れて、その魅力を発見し、相互理解を深めることを目的としたものです。3か月を超える活動の中、10月22日（土）には、学生たちが志和で知り合った町内の方と技能実習生との交流会「志和の輪を広げよう！しわわわわー」を、学生自身が企画し実施しました。



みんなでお好み焼きと押し寿司を作りました。

△△ [JICAからの受託事業]
その2 モザンビークの車窓から —JICA研修員と話すHIROSHIMAピーストーク—

11月19日（土）に広島平和記念資料館でHIROSHIMAピーストーク「モザンビークの車窓から」を開催し、留学生を含む20名の方が参加してくださいました。ピーストークとは、平和への意識が高い広島県において、紛争の経験国から来たJICA研修員が、自身の国の概要や、体験談を紹介し、参加者と一緒に平和について考えることを目的としたイベントで、2015年に初めて開催して以来、今回の「モザンビーク編」で14回目の開催となります。



実体験を語るタメレさん

ひろしま国際センター研修部で、
 今秋に実施したプログラム・取組みをご紹介します。
 プログラムの実施にあたっては、
 新型コロナウイルス感染拡大防止策を
 適切に講じています。

プロジェクトに参加した学生のコメントを紹介します。
 「志和における最大の魅力の一つである『人の繋がり』を最大限活かそうと、開催したのがお料理会です。志和の住人と技能実習生。普段交流の機会が少ない方々であり、今後も交流がなくとも過ごしていくでしょう。しかし、同じ志和という地域に所縁を持つ人たちが、志和の魅力である人の繋がり・温かさを感じ、関わりながら志和で生きていく。これほどに素敵なことがあるでしょうか。今回、私たちはそんな素敵な交流のお手伝いをすることができ、志和の輪を感じることができました。今後も志和の輪を発展させることで、素敵な『しわわわわー』になっていくことでしょう。」



楽しい交流会で、心もお腹も満たされました。



詳しくはこちらをどうぞ。

https://note.com/satoyama_boostup/

ゲストスピーカーであるモザンビーク出身のJICA研修員、タメレさんが、実際に本国で体験したエピソード等を通して、参加者はモザンビークで起きた内戦の実態や内戦終結後の状況を知ることができました。更に「平和構築のためにあなたは何から始めますか？」をテーマにディスカッションを行い、平和について考える国際的な意見交換ができ、有意義な時間となりました。



多国籍な視点から意見が飛び交うディスカッション。

Hello Hiroshima

Vol.119 January 2023



Hello Hiroshima

Aya

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

And just like that, another year comes to an end! Wow! I always love to use the bookends of time, or the beginnings and endings, to slow down and reflect on the past and imagine the future. How was your year? What were some of your highs and your lows? What are some moments you will never forget? Is there anything you learned that you want to take with you into the new year? For me, 2022 was another year full of growth and loss and exhaustion and excitement. It was a year that reminded me that relationships and connections are of central importance to me. It was also a year of professional growth, with lots of new exciting challenges (and naps/coffeeahaha).

I had time to adventure as well, even experiencing some of the things on my bucket list; I saw the first sunrise of the year from a mountain peak, traveled to Korea for the first time, took a boxing class, and tried Japan's Buddhist vegetarian cuisine (shojin ryori)!

As we begin this new year, I am feeling much more hopeful than I did a year ago, when there was still much uncertainty and anxiety surrounding the pandemic. Japan's borders have now reopened, and global travel has resumed; Hiroshima City has slowly become more international, seeing and hearing more diverse faces, clothing, and languages as we walk through its streets!

I feel that I am entering the new year with less weight of the pandemic on my shoulders, and I am so much lighter and optimistic for it. While things of course remain imperfect, and everyone's situations are different, I hope you all are able to take some joy in this as well.

Thank you all for reading again this year and sending you all my best wishes for an exuberant, whimsical, invigorating, electrifying, and fulfilling 2023!!

The happiest of holidays to you and yours.



Upcoming

E v e n t N e w s



テトを祝う会

旧正月をベトナム人と日本人がお互いに祝いし、お互いの文化交流をする会です。

日 1月14日(土) 時 12:00~14:30

場 広島市留学生会館大ホール 定 100名

費 日本人3,000円、留学生以外のベトナム人2,000円、留学生1,000円、

中学生以下無料

問 特定非営利活動法人 広島ベトナム協会 担当者：酒井(事務局長)

TEL : 082-962-8923 mail : hirovna@fujibiru.co.jp

第20回 国際交流フェスタ in くれ

地域住民と在住外国人の交流、異文化理解を図るためのイベントです。多言語スピーチや民族衣装のファッションショーなど華やかなステージプログラム、日本の遊び・文化体験ブース、外国の方との会話や物作りを楽しむコミュニケーションスペースもあります。

ぜひお越しください！

日 2月19日(日) 時 13:00~16:30 場 呉市役所1階 定 なし 費 無料

問 呉市国際交流協会 担当者：小川 TEL : 0823-25-5607

mail : festakure@gmail.com

オンラインユニセフ講座～私たちのジェンダー意識は多様化しているのか？主に漫画とアニメから考える～

県立広島大学教授で地球市民共育塾ひろしま理事の富田和広さんをファシリテーターにお招きします。一緒にジェンダーについて考えてみませんか？

日 2月25日(土) 時 13:30~15:30 場 Zoom 定 30名 費 無料

問 広島県ユニセフ協会 担当者：高田 和美 TEL : 082-231-8855

mail : unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベントが延期又は中止になる場合があります。事前に主催者に確認してください。

JICA海外協力隊

広島から世界へ！いつか世界を変える力になる！

広島から世界へ！現在(2022年12月1日現在), 広島県出身のJICA海外協力隊17名が世界で活躍しています!



<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目標で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか？

JICA海外協力隊 短期派遣募集中！

2022年12月16日(金)～2023年1月12日(木)まで

この度、約3年ぶりにJICA海外協力隊の短期派遣の募集を行います。先月まで行われていた原則2年間派遣の長期派遣とは異なり、今回は1か月～1年未満の期間で活動ができる短期派遣の募集です。いきなり2年間の派遣はハードルが高いと感じている方は、ぜひこの機会に挑戦してみてください！



JICA海外協力隊 2022年度 短期派遣募集情報

募集期間：2022年12月16日(金)～2023年1月12日(木)まで

相談窓口：広島県JICAデスク 羽立大介

082-242-8879 jica_hiroshima_desk@jica.go.jp

応募に関する質問や現地での生活について等、具体的に応募を考えていない方でも気軽にご相談ください！お待ちしております。

短期派遣募集について、詳細はこちらのQRコードから、ホームページをご覧ください。



広島市内で「JICA国際協力ラウンジ」をオープンしています！

JICA中国は東広島市にありますが、国際協力に興味のある学生さん、市民の方にもっと気軽に立ち寄っていただけるよう、広島市内に「JICA国際協力ラウンジ」という場所を設け、毎週水曜日と金曜日の午後3時から7時まではスタッフが勤務しています。また定期的に国際協力に関するミニイベントも開催予定です。

ラウンジ内には国際協力について学べる本やパンフレットをたくさん用意しているほか、国際協力にかかる相談をスタッフにすることもできます。ぜひお気軽にお越しください。

1月9日(月・祝)にイベントを行います！

国連職員と考えよう！～世界に貢献するために私はいま何をすればよいのか～



ゲスト
井本 直歩子さん

(元オリンピック競泳日本代表、現UNICEF職員)

JICA国際協力ラウンジでは、これまで2回にわたり国際協力に関心のある方向けにイベントを実施しました。次回は第3弾として井本直歩子さんをお迎えし、学生限定イベント（対面・オンライン）を開催します。

「ボロボロの水着で国際大会に出場している選手を見て、世界の不平等に気づいた」そう語るオリンピック入賞の元競泳選手、井本さんが次に

場所：第3ウエノヤビル2階
(広島市中区鉄砲1-20)

最寄り：広電 (女学院前)

日 時：毎週水曜日と金曜日
15:00～19:00

お問い合わせは上記「広島県JICAデスク」
まで



目指した舞台は「国際連合（＝国連）」でした。国連を目指したきっかけ、国際協力の舞台で働く魅力、そしてこれから目指す場所等、井本さんの話を聞けばきっと、あなたも新たなステップを踏み出したいなるはず！

日 時：2023年1月9日(月・祝) 16:00～17:30

場所(対面)：JICA国際協力ラウンジ
(広島市中区鉄砲1-20 第3ウエノヤビル2階)

オンライン：Zoomお申し込み後に詳細を連絡いたします。

申し込み先：QRコードを読み取り、
フォームよりお申し込みください。

お問い合わせ先：広島県JICAデスク



「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

HIC article: モンハイノ 孟 海諾さん(中国)

私はここに住んで1年半くらいになって、GRPとして毎日充実し、楽しい生活を送っています。HIPの方はよく国際交流や文化体験のイベントを開催されているので、他の国からの人とコミュニケーションする機会も多いし、日本文化についても深く理解できたと思います。

私が一番印象に残っているのは今年参加した清里高校との交流イベントです。それをきっかけに、清里高校の学生たちと仲良くなり、広島市内で一日の見学をしました。広島城、広島平和記念公園を見学したことによって、広島の歴史または平和の意義を改めて認識ができる、とても感銘を受けました。また、去年参加した日本語高等研修プログラムもとても有意義だったと考えます。優しい先生たちと出会い、自分のアカデミック日本語能力が鍛えられました。

私はここで最も好きなところはHIPの図書室です。そこでいつも面白い本を探したり、時間を潰したりしています。大ヒットの小説や語学の本、雑誌、マンガなど、書籍のジャンルも豊

富だし、旅行のパンフレットも揃えているし、DVDの貸出もできるから、とても気に入っています。そこでたまにイベントが開かれており、プレゼントももらいますよ(笑)。

最後に、我々の日常生活を支援してくださったフロント、事務室の職員さん、TAさんもみんな優しくて、とても思いやりのある方だと思います。また、他のGRPメンバーとも非常に深い友情が結ばれています。ここでお互いに気心を知り合った仲ができたとてもありがたいと考えます。みんなはそれぞれ忙しいかもしれないですが、たまに集まって、一緒にご飯をしたり、悩みとかを話したり聞いたり、バドミントンとかをしたりして、私にとって貴重な経験だと思って大切にしています。GRPはメンバー全員をつなぐ絹糸のようなもので、ここだけでなく、これからもきっと続けてお付き合いしていきたいと思います。ここを離れてもみんな頑張って、それぞれの分野で輝きましょう。



グローバルリレーションズ・
プログラム(GRP)とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデンシアリストの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料

1泊800円 管理費2,550円/月

月額24,950円~27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

1月22日国際理解講座(オンライン)を開催します!

地球温暖化によって、今何が起きていて、なぜ起きるのか、どうすれば変えられるのか、考えてみませんか? この講座では、2022年6月以降の大旱により、パキスタンの国土3分の1が水没したと言われる大洪水も取り上げます。分かりやすく問題を知る、貴重な機会です!たくさんのご参加をお待ちしています。

「第3回国際理解講座 パキスタンの洪水から考える気候変動問題」

日時

1月22日(日) 15:30~17:30

講師

環境活動家 谷口 たかひさ 氏

国際NGO HOPE'87 パキスタン支部長

ショアイン ハイダー 氏

(パキスタンより繋いでお話しいただきます。)

参加費
無料

対象

中学生・高校生・大学生(一般も可)

申込み

QRコードまたはURL
(<http://bit.ly/3tEsGTp>) から



谷口たかひさ氏 ショアイン ハイダー氏

交流部&留学生活支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F

TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001

E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月~金 10:00~19:00 土 9:30~18:00
日・祝日および年末年始(12/28~1/4)はお休みです。



研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751

E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

[情報センター・図書室]

月~金 10:30~12:30, 13:30~19:00
(12:30~13:30閉室)

土・祝日 10:30~19:00

※日曜および年末年始
(12/29~1/3)はお休みです。

※その他、臨時休室の場合は、

HPで随時お知らせします。

※NGO交流室は休室中です。

